

Event イベント紹介

【友の会総会】 日時: 5月7日(日) 10:00~10:30 場所: 学習室
 【友の会講演会】 日時: 5月7日(日) 10:45~11:45 場所: 学習室
 講師: 長谷川善和名誉館長

第53回企画展 「尾瀬を科学する」

会期: 3月18日(土)~5月14日(日) 観覧料: 一般610円 高校・大学生300円

過去からの科学的な調査研究は、尾瀬の生い立ちと学術的な価値を解明してきました。新しい知見や問題解決にあわせて今も尾瀬の調査研究が行われています。過去、現在、未来の研究を通して尾瀬を体感する展示です。



第54回企画展 「アマゾンはいま」

会期: 7月15日(土)~9月3日(日)

観覧料: 一般720円 高校・大学生410円



友の会入会・継続のお知らせ

博物館への入館料が1年間無料!

その他の
入会特典は
次の3つです。

- 1 ミュージアムショップの割引
- 2 友の会行事等への参加
- 3 博物館からの情報配布

年会費

- ① 一般会員.....3,000円
- ② 高・大学生.....2,000円
- ③ 小・中学生.....1,000円
- ④ 家族会員.....5,000円
- ⑤ 賛助会員(1口).....10,000円

◎現会員の方は、引き続き入会をお願いします。また、お知り合いの方に新規加入をおすすめいただければ幸いです。

博物館利用案内

開館時間: 午前9時30分~午後5時(ただし入館は午後4時30分まで)

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
 その他都合により休館することがあります。

観覧料: 一般510円 高校・大学生300円 中学生以下無料

※企画展開催中は、別料金になります。

※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料

編集 後記

第2回体験活動「植物観察とアサギマダラのマーキング」に参加しました。高山植物や高山蝶の説明を聞きながらのウォーキング楽しかったです。池ノ平湿原の大自然と空気をおかずに食べたお弁当は格別でした。アサギマダラのマーキングでは、童心に帰り、蝶を追い掛け、マーキング後私の手から飛んでいく姿は感動でした。

これからも心に残る企画を考えていきたいと思っておりますので、皆様の参加を宜しくお願いいたします。(伊丹清美)

10月28日 ぐんま県民の日イベント

暗闇で光る アンモナイト化石のレプリカ作り

ぐんま県民の日に博物館実験室を会場にして、友の会で「暗闇で光るアンモナイト化石のレプリカ作り」を行いました。運営スタッフとして柚木会長、堀越友子さん、佐藤真由美さん、黒澤弘子さん、江原久美子さん、江原朝玖くん、石井静枝さんに出席いただきました。

当日は47名あまりの方に体験していただき、23,500円の収益がありました。収益に関しては、友の会会計に入れ、研修会等で有効に活用させていただきました。

運営スタッフの感想

実験室に入ると、職員の月田さん、静野さんの笑顔に迎えられ、緊張がほぐれました。

先輩ボランティアの皆さんの優しく丁寧なご指導のもと、可愛いお客様に初めて教えるレプリカ作り。石膏と光る粉に水を加えて一生懸命こねる小さな手、真剣なまなざし、型から出したアンモナイトをそっと受け止めたときの嬉しい笑顔を沢山見せていただきました。宝物の箱を開けたような、すてきな時間を、心から感謝いたします。(黒澤弘子さん)

友の会通信

~群馬県立自然史博物館友の会~

2017
Vol.
36



視察研修

11月13日(日)

国立科学博物館・日本科学未来館

自然史博物館友の会の研修視察は11月13日(日)に実施されました。総勢43名の会員は県内各地から早朝に参集し、7時に博物館を出発しました。富岡インターチェンジから上信越自動車道に入り、上野公園を目指し出発です。小春日和の穏やかな天候に恵まれ、途中真っ白な富士山を遠方に望むこともでき、幸先のよいスタートでした。渋滞もなく順調に上野公園の駐車場に着きました。

国立科学博物館の前で記念撮影をして入館しました。当館は、地球館と日本館に分かれ展示されていました。2時間に及ぶ自由見学です。日本最古の当館には400万点に及ぶコレクションが保管されており効率的に収納され、展示されている余りにも壮大な博物館でした。どこからどのように見学するか戸惑うほどでした。

かつて大地を駆けていた115点にも及ぶ哺乳類や鳥類の大型剥製群が今なお魅力をたたえ、人々に感動を与え続けている姿には驚嘆しました。ニホンオオカミやジャイアントパンダのフェイフェイとトントンたちにも会え時が遡ったような不思議な感動に浸りました。屋上でハーブ園の香りに癒やされながら弁当を食べ、再びバスで日本科学未来館に向かいました。科学未来館は、ただ単に見学する場所ではなく、「今、世界に起きていることを、科学の視点で理解し、どのような方法で未来を作っていくか、考え・学び・語り合うための博物館だ」ということがよく解りました。

子どもから大人、専門家、あらゆる人々の疑問や課題を解決するために、さまざまな分野の英知を集め、映像・実験・講義・データ等提供し開かれている素晴らしい場でした。

常設展ゾーンで、カミオカンデ装置でニュートリノ(中性素粒子)をこの目で観察したこと、宇宙ステーションの内部体験、マイスナー効果の実験、ロボットアシモの様々な動き等々、体験できました。充実した素晴らしい研修旅行に参加できたことに感謝いたします。(堀越友子)

視察研修

11月13日

(国立科学博物館・日本科学未来館)

参加者の声

●息子は恐竜が大好きなので国立科学博物館の地球館が楽しかったそうです。大人も一緒に楽しめました。屋上で昼食を食べたのですが、ぼかぼかして気持ちよく、スカイツリー、電車など景色も楽しめました。ありがとうございました。(高橋健二さん)

●国立科学博物館、日本科学未来館とも参加体験型の新しい展示が充実しており見ごたえがありました。特に日本の最先端科学は相当進んでいる実態がよくわかりました。(柳澤敬一さん)

●2つの博物館を1日で回ることができとても有意義でした。丸一日親子で楽しむことができよかったです。ありがとうございました。(市川裕一さん)

●初めての視察研修旅行でしたがとても楽しく参加できました。それぞれの博物館にボランティアの方がたくさんいらっしゃり、説明もよく分かりました。イベントにも参加してみたかったのもう一度来てみたいです。ありがとうございました。



第2回友の会/

体験活動

植物観察とアサギマダラのマーキング

8月7日

本格的な暑さとなった8月7日、博物館友の会第二回体験活動「植物観察とアサギマダラのマーキング」が長野県池の平湿原と群馬県嬬恋村の小棧敷山にて群馬県ナチュラリスト自然保護協議会の宮前和夫先生を迎え開催されスタッフを含めた21名が参加されました。池の平湿原では3班に分かれて高原の爽やかな風の中、雷の丘、雲上の丘広場、見晴コマクサ園を経て湿原を横断、駐車場へ戻るコースを歩きこの間ヤナギラン、ワレモコウ、マツムシソウ、ハクサンフウロ、ウメバチソウなど沢山の高山植物を観察する事が出来ました。

午後は小棧敷山山麓に移動しここでは5班に分かれ各班それぞれに捕虫網を持って草原へ、昼を過ぎ日差しが強くなった為

か？当初はアサギマダラの姿を見つけられませんでした。木陰の在る林部に入ると沢山の蝶が群れていて慣れない網さばきに苦労しながらも参加者全員が1頭以上を、全体では48頭(オス39頭、メス9頭)を捕獲・マーキングする事が出来ました。このマーキングは渡りをする蝶として知られるアサギマダラが南への移動する季節に合わせてこれを捕獲し翅に油性ペンで「捕獲地：かざわ・捕獲者：GN(群馬ナチュラリスト)、個体番号：001～、日付：28.8.7」を記入、放蝶しこれが後日、再捕獲されることで移動距離やルートを解明することが目的です。この小さな蝶達が遙か遠くの九州や沖縄に無事辿り着けることを祈りつつ小棧敷山を後にしました。(北爪二郎)



参加者の声

●午前中、普段見ることのできない貴重な高山植物やチョウを観察することができました。池ノ平湿原のさわやかな風にふかれながら標高2,129mの雲上の丘から見る眺めはとてもすばしかったです。午後はアサギマダラを12頭つかまえてマーキングしました。とても楽しい一日を過ごすことができました。(倉金由起子さん)

●普段見られないような植物をたくさん見ることができました。高山植物はとてもきれいです。似ている植物もたくさんあったので教えていただかないと見分けるのが大変だなと感じました。とても楽しく充実した一日を過ごすことができました。(倉金香菜子さん)

●富士の万年草という一番大きいコケを見て杉の子だと思っていたので驚きました。ヒカリゴケも見られてよかったです。アサギマダラのマーキングでは、メスのチョウを捕まえることができ嬉しかったです。また参加したいです。(江原久美子さん)

第3回友の会/

体験活動

コケの観察とテラリウム作り

12月18日



12月18日(日)友の会の会員ほか総勢27名が参加して、静野聡講師の指導でコケの観察とテラリウム作りを行いました。コケ植物は蘚類、苔類、ツノゴケ類に分類されること、コケには根がなく、水は全身で吸収することなどコケ植物についての講義のあと外に出て、実物を観察して少しだけ採集しました。博物館周辺ではゼニゴケ、ハタケゴケ、コカヤゴケ、ホウオウゴケ、ハイゴケなどが見られました。

広口ビンの中に自分で採集したコケと講師の用意したコケやオブジェを使って思い思いのコケ庭やクリスマス仕様のテラリウムが出来上がりました。コケの種類による栄枯盛衰があるとのことですので、今後どのように変化していくのか楽しみです。(櫻井昭寛)

参加者の声

●周りにこんなにコケがあることにビックリしました。テラリウムは小さな癒やし空間ができました。(清水 豊さん)

●ただ作るだけではなく、身近なコケを採取してそれを使ったので、子供たちも「作った」という記憶だけでなく、コケがどんな所にあつてどんな種類があるのか楽しく学べたと思います。(高木裕子さん)

●普段何気なく歩いている道のわきに、こんなに素敵な植物があるんですね。コケが大好きになりました。家のまわりでもコケを探してみたいと思います。(大原里美さん)

●コケの勉強もテラリウム作りも初めてでした。子供と楽しめました。昨年の「キノコの観察会」以来の参加でしたが、先生がコケを大好きという気持ちで説明してくれたので楽しかったです。(砂川雅江さん)

●友の会のイベントに初参加しました。サイエンス・サタデーでコケのテラリウムを作ったことがあったのですが、今回は、より本格的なものを作ることができ、興味深い体験ができました。家でどのように変化していくのか楽しみです。(松浦陽美子さん)



私が見つけた自然

友の会会員からのおたより

オンブバッタの交尾

自宅の庭でオンブバッタが交尾をしていました。いつもおんぶの時しか見なかったのですが、オスが尻を曲げてメスの先端に

付けていたので、交尾だとわかりました。今度は産卵も見てみたいです。

(江原朔玖さん)



アカスジキンカメムシ

「こけティッシュ 苔ワールド」に参加した時、アカスジキンカメムシの幼虫を見ました。このカ

メムシを見たのは初めてだったので、こんなに身近にいるとは思いませんでした。成虫も見てみたいです。

(江原朔玖さん)



私が見つけた自然 募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館の友の会へ封書またはメール(事務局アドレス: tsukida@gmnh.pref.gunma.jp)でお送り下さい。会員同士、すてきな自然の情報交換の場になればと考えています。なお、応募していただいた方にすてきな賞品をプレゼントします。